

# 響

ひびき

浄土真宗・お東  
 真宗大谷派 どうじょうじ  
 道誠寺報  
 No.48  
 2016年4月3日 発行



港又白金台  
 明治学院大学  
 2015.  
 12.12.

絵 百田 稔さん

ごくらく ようじ  
 極楽にさのみ用事はなけれども、

みだ たす ゆ  
 弥陀を助けに往かにやなるまい

一休禅師



www.ji-n.net

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを  
 求めて

# 行事のお知らせ

4月28日  
木曜日

・ 13時～ 写経・書道教室  
・ 15時～ 同朋会（どうぼうかい） ※前田暁先生

5月12日  
木曜日

・ 14時～ 二木会（にもくかい）

5月26日  
木曜日

・ 13時～ 写経・書道教室 青山美智子先生  
・ 15時～ 同朋会 小林尚樹先生

6月9日  
木曜日

・ 14時～ 二木会

6月23日  
木曜日

・ 13時～ 写経・書道教室  
・ 15時～ 同朋会

7月14日  
木曜日

・ 14時～ おみがき会 仏具をおみがきします。

7月28日  
木曜日

・ 13時～ 写経・書道教室  
・ 15時～ 同朋会

8月15日  
月曜日

・ 16時～ 孟蘭盆会（うらぼんえ） お盆の法要

9月8日  
木曜日

・ 14時～ 二木会

9月22日  
木曜日

・ 14時～ 秋季彼岸会法要 お彼岸の法要  
・ 15時～ 同朋会

10月9日  
日曜日

・ 14時～ 日曜法話会

## 道誠寺 活動行事について

○聞法しましょう！仏法を愉しんで語りましょう！

道誠寺では、お花見、バスツアー、仏具のおみがきなどを通して、門徒さんの親交を深める「二木会」、またお念仏の教えに触れていく「同朋会」、その他「書道教室」や「歎異抄の会」や日曜日に開かれる「日曜法話会」など、たくさんの行事があります。家族、知人お誘いして来てくださいね。

○不定期開催である「歎異抄の会」などの情報、その他行事の日程については、ホームページ・ブログで最新情報がありますので、ご覧ください。

○道誠寺～市川大野駅間の送迎もあります。

## その他 聞法会のお知らせ

4月13日  
水曜日

・親鸞教室 A④  
・因宗寺 松戸市

6月3日  
金曜日

・同朋大会  
・詳細は13頁にて

6月15日  
水曜日

・親鸞教室 全大会  
・即随寺 市川市

親鸞教室は  
会費 1,000 円  
時間 13:00～

講師は海法龍先生(長願寺住職)です。

会場が毎回異なります。

和讃を読み進めています。

一回のみの参加も、途中からの参加も大歓迎です。

お寺に集い、ともに聞法しませんか！！

# 行事報告

1月26日(火)

～ 28日(木) ～

東京教区

# 報恩講

教区テーマ

「明けない夜は、ないのだから

～現代という闇を親鸞とともに歩む～」

練馬区にある東本願寺・真宗会館にて、東京教区報恩講が厳修されました。27日の速夜法要に参詣し、池田勇諦先生(同朋大学名誉教授)のご法話を聴聞しました。(次頁より法話内容要約)



報恩講ポスター制作 高田昌磨さん

6名参加

27日 速夜法要 参詣

速夜法要 法話 池田勇諦先生

親鸞聖人が身をもって明らかにしてくださった教えを私たちは聞き開く、そこに初めて親鸞聖人の御苦勞の恩徳を知ること、つまり「知恩ちおん」ということが成り立つのです。その知恩に始まる歩みのことを「報恩ほうおん」といいます。親鸞聖人は法然上人との出遇であいをもって眞実の道を見出されたのですから、親鸞聖人ご自身も身をもって、この「知恩・報恩」という道に生きられたのです。

このことを親鸞聖人は、『教行信証』（化身土卷）における

良まことに勧めすすすでに恒沙ごうじゃの勧めなれば、信しんもまた恒沙ごうじゃの信しんなり

の言葉をもって、私に賜たまわる眞まことの信心というものは、インドのガンジス河の砂の数のように限りじつない十方無量の諸仏しよぶつのお勧め、御苦勞によって与えられる信心（知恩）であり、そして、そのような信心であるがゆえに、その信心は限りなく十方無量の諸仏に出遇であって、い歩みが始まる信心（報恩）であると、親鸞聖人はおっしゃっています。ですから、浄土眞宗の仏道とは、このお言葉に尽くされているのではないかと思ひます。

親鸞聖人の浄土眞宗の世界において、「諸仏」という存在がましまさなかつたら何も成り立たないと言つても過言ではないと思ひます。弥陀一仏の教えにおいて「諸仏まします」

という諸仏の存在がいかに重いかということ  
です。ですから、私たちが聞法もんぽうしておいても  
「わかりません」、「はっきりしません」とい  
うことがあります、それは諸仏が全然明ら  
かになってないのではないのでしょうか。諸仏  
が明らかになってないから、信心が明らかに  
ならないのです。

仏教の大きな特色は、色々挙げられるでし  
ようけれども、やはりこの「諸仏を説く」と  
いうことだと思っております。そこで諸仏とい  
うことが説かれる原点は一体何なのであろうか  
と考えさせられるのですが、私は「万人成仏」  
ということを思いあわすのです。いかなる人  
も仏になることができるということなのです。

曇鸞どんらん大師のお言葉「前ぜん仏ぶつの度どしたまうとこ  
ろの衆生しゅじょうなればなり」（『略論安楽浄土りやくろんあんらくじょうど義ぎ』）  
にあるように、「諸仏とは前の仏によって済度さいど  
されたところの衆生しゅじょうのことだ」と言います。  
諸仏とは、もとは凡夫ぼんぶです。つまり諸仏の前  
身は凡夫なのです。諸仏とは「絶対のものに  
触れたところに誕生した人」です。つまり私  
に先立って絶対なるものに出遇って、そして  
自らの分を尽くしていらっしやる先輩、先達  
です。言い換えれば、阿弥陀の本願に目覚め  
て、自らの個性を本当に尽くす生き方を見出  
した人です。ですから諸仏は「善知識ぜんちしき」なの  
です。易しく言えば、私を阿弥陀仏に導いて  
くださるご案内役、先生ということなのです。

阿弥陀仏に救われる方法は、諸仏、善知識に遇う、これしかないのです。

よきひとのおおせをかぶりて、信ずるほかに別の子細なきなり

という『歎異抄』のお言葉にあるように、念仏の救いを頂戴する唯一の方法は、諸仏、善知識に遇うことです。私に先立って阿弥陀に遇い、阿弥陀の本願を生きていらっしゃる先輩、先達に遇う以外にないのです。

諸仏は、このように「人」としておさえたい時「化身」という言葉で表すのですが、諸仏とはもっとも広げていうと人だけではないのです。私たちが生活の場で出遇う様々な人生経験や出来事も「化仏」という言葉で表されて

います。ですから非人格的な出来事や経験も諸仏なのです。「諸仏とは、私たちにとって本当に尊く有難い存在だ」というように、順縁という面で、おそらく皆さんはお受け取りになるのが強いだろうと思うのですけれど、今ひとつ忘れてはならないことは、順縁に対すれば逆縁です。出来事でいえば、災難に遭う、不幸に遭う、病気になるといったマイナス価値的な負の側面です。そういう逆縁すらも化仏という概念で表されてくるのです。順縁、逆縁というかたちで、私に教え導いてくださる「教仏」という一点をもって、諸仏ということです。ですから、自分の出遇った事柄から一つの教えを感得し聞くということがない限

りは諸仏とはいえませんが。自分の出遇った事柄の上に「辛いことに遭わせてもらったけれど、これも本当に大きなご催促さいそくを受けたのだなあ。無駄でなかったなあ」と、一点どこかで感ずる時、その出来事は教仏であり諸仏です。ですから、教えを感得することがない限り、単なる不幸なことや嫌なことではしかないのであって、諸仏とはいえないのです。諸仏ということとは、有難い順縁のかたちだけで表れくださるだけでなく、逆境、私にとって遭いたくないこと、顔を見るのも嫌という逆縁のかたちを通して表れてくださることがあるのです。それが諸仏、善知識の厳しさではないでしょうか。

このことから、聞法とは自分の頭をひねって考えるものではなく、私たちの生活そのもの、私たちの生きざまそのものを通して、諸仏との出遇いが聞法なのです。ですから、親鸞聖人が「良に勧めすでに恒沙の勧めなれば、信もまた恒沙の信なり」、十方無量の諸仏によって賜ったところの信心なるがゆえに、その信心はまた限りなく十方恒沙の諸仏に出遇っていく信心であると仰っていることの重さです。このように親鸞聖人は知恩・報恩という道を歩まれたのです。ですから、私は、このお言葉に浄土真宗の仏道というものが尽くさされているのではないかと、そのような感銘を受けているのです。

以上、速夜法要のご法話の要約



(感想)池田勇諦先生は、御年八十歳を過ぎられても、一層ご法話に力が込められていて、まるで「説法せっぽう師子吼ししこう」のようでした。言葉が私の身を問いかけるように響いてきます。このようなご法話から大変印象に残り、私にとっては突き刺さるような厳しいお言葉をお聞かせいただきましたので、ここに載せます。

諸仏がましまさなかつたら、阿弥陀の本願は事実とならないでしょう。もっと言えば、十方諸仏がましまさなかつたら、阿弥陀は阿弥陀に成れないのです。阿弥陀の本願を証明する存在が諸仏なのです。

極楽にさのみ用事はなけれども、  
弥陀を助けに往かにやなるまい

この言葉は禅宗の一休禪師の作だと伝えられています。痛快ですよ。私たちは阿弥陀さんに助けてもらうんだということばかり聞いていますけれど、そうではない。私が阿弥陀を助けるのです。つまり、私が助からんことには阿弥陀が阿弥陀に成れないのです。ですから、皆さん方がこのような聞法の席にお着きになるということは大変なことなのです。阿弥陀を阿弥陀にすることができるかどうか、その責任が皆さん方の肩にかかっているのです。聞法するということは、そのような責任を担っているのです。阿弥陀を阿弥陀にするかしないかが私の肩にかかっているのです。

2月11日(木)

二木会

参加者

7名参加

交流を通して

親睦を深めよう

二木会は、門徒さんがお寺に集まって、お花見をしたり、茶話会をしたり、いつでも和気あいあいと楽しい会です。

2月は、お寺に集まって茶話会でした♪

2月25日(木)

書道教室・写経・同朋会

書道教室・写経 参加者

8名参加

同朋会 参加者

先生含め21名参加

小林尚樹先生

第4木曜日開催の

お念仏に出遇う会

同朋会は、みんなで声を出してお勤めをしてから、先生のお話をお聞きして、親鸞聖人の教えに触れ、自分自身を見つめていく会です。お話を聞いた後は、お茶菓子をおいただきながら茶話会です。どうぞお気軽においでくださいね♪

現在『宗祖親鸞聖人』をテキストに親鸞聖人の生涯と教えの言葉を読み進めています。講師は小林尚樹先生です。

3月10日(木)

## 二木会

参加者

11名参加

3月は、お寺に集まって茶話会でした♪

今後の二木会の主な予定

7月・・・おみがき会

秋・・・バスツアー(横浜別院)

12月・・・おみがき会

(基本第二木曜日開催。8月は休会です)

3月24日(木)

## 春季彼岸会法要

& 同朋会



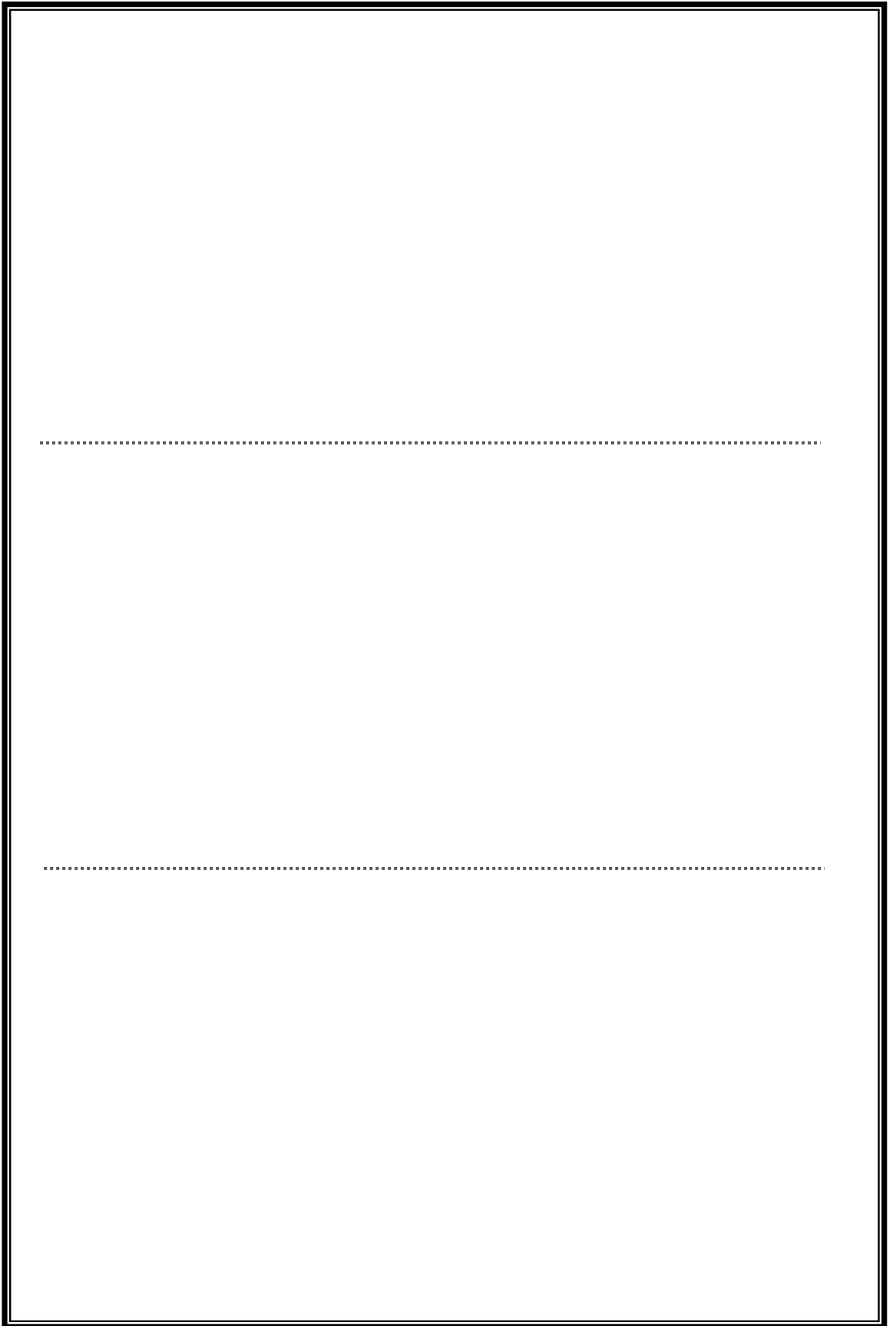
参加者

先生含め22名参加

小林尚樹先生

## 春のお彼岸の法要

14時から春のお彼岸の法要を勤めました。仏さまは私たちが仏法に触れて生きていくことを願われています。年齢問わず、家族でお参りし、仏法に触れましょう。



## あとがき

▼今号は、教区報恩講における池田勇諦先生のご法話の文字が主体なので、以前のように白黒印刷にしてみました。▼3月31日木曜日に京都東本願寺へ家族で参詣してまいりました。阿弥陀堂の御修復が完了し、御本尊を阿弥陀堂へお戻しする「御本尊還座式」が執り行われていて、多くのご門徒が参詣されていました。▼6月3日金曜日は、文京シビックホールにて「親鸞聖人につどう同朋大会」が開催されます。今年は藤原千佳子先生（浄秀寺前坊守）による記念講演があります。ぜひご聴聞を！ 詳細はお寺に問い合わせてください。

（釋光生）

平成 28 (2016) 年度の年回忌案内

回忌	命終された年
1 周忌	2015 年(平成 27 年)
3 回忌	2014 年(平成 26 年)
7 回忌	2010 年(平成 22 年)
13 回忌	2004 年(平成 16 年)
17 回忌	2000 年(平成 12 年)
23 回忌	1994 年(平成 6 年)
27 回忌	1990 年(平成 2 年)
33 回忌	1984 年(昭和 59 年)
50 回忌	1967 年(昭和 42 年)

過去帳、法名軸、お位牌を見て、故人の命終された年をご確認ください。

## 仏事法要について

### ○通夜葬儀をお勤めします。

段取りや分からないことなどお気軽にお寺までご相談ください。Tel047-337-5305

法名や費用のご心配をされている方のご相談も多くお受けしています。どんなことでもお気軽にご相談ください。

日程、場所、葬儀社などをお知らせください。

枕勤め(枕経)に伺います。

### ○年忌法要(ご法事)をお勤めします。

法事は亡き方のご命日を縁として、私たち一人ひとりが仏さまの教えにふれる大切な仏事です。

お寺の本堂、ご自宅、墓前、お好きなどころでお勤めします。日程や場所がお決まりになりましたら、お早目にお寺へご連絡ください。

年回法要に当たらない年の祥月命日や、月忌命日(月参り)・お盆(新盆)・お彼岸など、ご自宅のお内仏への参勤もお気軽にご依頼ください。

永代経志や法要記念の仏具などをご寄進くださいます方は、事前にご相談ください。

## 千葉県 道誠寺の由緒

道誠寺は、愛知県名古屋市熱田区五本松町に所在しています。そのお寺で次男として生まれ育った市野慈敬が、昭和59年5月に千葉縣市川市大野町に「道誠寺(別院)開教所」を設立致しました。平成24年3月にはご門徒皆さまのご支援を賜り、「宗教法人 道誠寺」を登記完了することができました。

### ◇住職よりメッセージ◇

○お葬式・ご法事などの仏事相談でお困りの方、何でもお気軽に相談ください。(よく「お布施」や「お葬式のかたち」などの相談をお受けします。住職が親身にお応えします)

○お寺はいろんな方たち(お仲間)が集う場所です。  
悲しみ悩んでおられる方も、どなたさまでもお気軽にどうぞ。  
(お寺では、さまざまな行事が開かれています。行事以外でも、お寺にフラッと立ち寄り、お茶でも飲みまわしてください)



どうじょうじ  
真宗大谷派 道誠寺

〒272-0804

千葉縣市川市南大野

1-26-31

TEL:

047-337-5305

FAX:

047-337-5306

URL:

<http://douzyouzi.com>

住職 市野慈敬 (釋慈敬)

副住職 釋光生

